



7/18 海の恩恵に感謝



海の恩恵に感謝することを目的に「西条市研修の船」を開催。約850人の参加者はオレンジフェリーに乗船し、救命ボート展張実験などを体験。船員さんなどの説明を熱心に聞く子どもたちの姿や、親子が笑顔で触れ合う姿が見られ、楽しい海の日になりました。

7/28 上位入賞目指して頑張ります！



「ゆるキャラ®グランプリ2016」にエントリー中のチャップン爺さんとカブちゃんが、エントリーの報告と投票依頼で市役所を訪問。今年は松山市で最終現地決戦が開催されます。西条市を全国にPRするための頑張りに、皆さんも応援よろしくお願いします。

7/24 熱い！暑い！！ストハン!!!



今回で3回目を迎えた市民手作りの音楽フェス「STONE HAMMER fes.2016」がひうち運動公園レクリエーション広場で盛大に開催。子どもから大人まで約2,000人が集まり、カンカン照りの太陽の下で音楽に酔いしれ、地元グルメに舌鼓を打ちました。

7/20 夏の夜空を彩る大輪の数々



鷺森神社の管弦祭に先立ち、毎年旧暦6月17日に行われている「おかげ祭市民花火大会」が壬生川内港で開催。復活10周年となる今年は、約8,000発の花火が夜空を彩ったほか、よさこい連が踊りで祭りを盛り上げ、訪れた多くの人たちを楽しませました。

7/31 安全登山のために



石鎚への縦走路の起点である堂ヶ森登山道の危険箇所を回避する道の整備が、地元のボランティアグループ「赤滝登行会」と丹原高校柔道部の生徒を中心に行われました。当日は厳しい暑さの中での作業となりましたが、みんなで協力して登山道が整備されました。

7/24~31 松山空港にだんじりが登場



帰省客や観光客でにぎわう松山空港1階ロビーに、西条が誇る西条まつりの「だんじり」2台が展示されました。行き交う人の多くが足を止め、華麗で勇壮なだんじりに見入っていました。併せて開催された西条の物産展にも多くの方にお越しいただきました。



毎年恒例の「小松町ふるさと祭り」が開催され、30日にはチャリティお茶会やのど自慢大会、31日にはかわいらしい園児たちによる元気いっぱいの踊りや、ダンス「小松囃子KOMATSU-BAYASHI」、ふるさと祭りの代名詞ともいえるお殿様とお姫様が優雅に歩く大名行列などが行われました。会場に飾られた七夕飾りが祭りに彩りを添え、両日とも華やかな浴衣や甚平を身にまとった人々であふれ、大変にぎやかな夏のひとときとなりました。

7 / 20～8 / 1 西条市へようこそ！



当市と友好都市関係にある中国・保定市の河北大学の学生ら計20人が、市内の家庭にホームステイ。滞在中は市内の施設見学や文化体験、西条高校訪問、市民との意見交換会などを通じて、日中の生活や文化の違いなどについて学び、多くの人と交流を深めました。

8 / 6 西条で世界と出会おう！



「海を越えて見えたこと 帰国報告会＆映画上映会」を西条図書館で開催。西条市国際交流協会のヤングリーダー育成プログラムに参加した西条高校生と、当市出身の青年海外協力隊経験者を講師に迎え、世界の現状と国際交流・協力の必要性を学びました。

7 / 31 新潟・新津から出張講座



四国鉄道文化館と姉妹館協定を結ぶ新津鉄道資料館（新潟市）から学芸員が来館し「鉄道の街・新津」の歴史や、鉄道の発達と都市間移動の変遷などについてわかりやすく解説いただきました。聴講者が熱心に質問するなど、貴重な交流の機会となりました。

8 / 1～7 東京・新橋で西条産品をPR



東京・新橋のアンテナショップ「香川・愛媛せとうち旬彩館」で、西条市物産・観光フェアを開催。4酒蔵の地酒や絹かわなすをはじめ、西日本最高峰石鎚山の麓、水の都西条ならではの旬の産品を紹介することで、多くの人に西条の魅力をPRしました。



今年で36回目となる「丹原七夕夏まつり」が丹原商店街で開催。趣向を凝らした色とりどりの笹飾りが、約1キロメートルにわたって飾られました。丹原小学校の子どもたちによる鼓笛隊パレードや道前太鼓の演奏で盛り上がり、盆踊りや吉野連による阿波踊り、ミニSLなどのさまざまな演出で、多くの人が集まった会場は笑顔と活気に満ちあふれていました。

8 / 6 ~ 9 来年のえひめ国体に向けてハンドボール競技のリハーサル大会を開催



総合体育館とビバ・スポーツシア S A I J O で、愛顔（えがお）つなぐえひめ国体ハンドボール競技リハーサル大会（第21回ジャパンオープンハンドボールトーナメント）を開催。今大会には全国から男女計48チームが出場し、西条市内の会場では主に女子による熱戦が繰り広げられました。男子の部ではHC和歌山（和歌山県）、女子の部では香川銀行T・H（香川県）が優勝。8日の女子決勝戦ハーフタイムには、みきゃん・ダークみきゃん・カプちゃん・チャップン爺やん・地元園児による綱引き対決もあり、大いに盛り上がりました。

8 / 6 お魚をもっとおいしく



県内産の魚介類を使った料理コンテストが開催され、市内の高校生4チームが参加しました。魚食の普及を図る「わくわく創作ワンプレート料理」に挑戦し、魚介類と地元農産物を絶妙にマッチさせた丹原高校が見事優勝しました。

7 / 29・8 / 5 災害から生きのびるために



丹原福祉センターで開催の「第1回子ども防災サミット」に市内の小学生56人が参加し、防災学習やタウンウォッチングを実施。小松農村環境改善センターで開催の「防災キャンプ」では、起震車体験などを行い、防災へ取り組む大切さを学びました。